

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ポカラボットふじしま

公表日 年月日 2026年 3月 11日

利用児童数

41名

回収数

37名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2		1	・体を動かすのに十分な広さです。 ・室内はそんなに広いと思わない。	安全に楽しい療育活動ができるよう、活動内容（静と動）・活動メンバー（関係性・人数）を工夫し限られたスペースを有効活用しています。よりのびのびと活動したいときには引き続き公園や地域の体育館等も活用していきます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35			2	・適切にみえます。	法定人数以上の職員配置であることについて、契約時の丁寧な説明を心がけます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	1		3	・ワンフロアなので見渡しやすいです。	子どもの特性・関係性・課題等に応じて環境を調整しながら活動していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1	2	1	・とにかく広いので活動の幅が広くとてもよい環境だと思います。 ・やや建物が古く駐車場も荒い。	建物の古さから心配をおかけしています。安全点検のチェックリストに沿って定期的なチェックを継続するとともに、安全第一で必要な箇所については補修していきます。 駐車場について昨年ご意見をいただき、白線を引き直しました。引き続き更なる改善策を検討していきます。 引き続き毎回のサービス提供後に清掃・消毒を行っています。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37				・いつも子どもをしっかり見てくださって理解していただいています。 ・子どもの特性に寄り添って支援していただけていると思います。	「集団活動を楽しむ」ために、必要な支援はひとりひとり違います。集団の中の個別支援を大切に、保護者の協力を得ながら子ども理解に努め、支援のおしつけにならないよう本場に必要支援を模索し続けます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36			1		ホームページにて支援プログラムを公表しています。それをもちに子ども達にとって楽しい活動を通した療育となるよう工夫して活動を準備しています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37					・細かく個に応じたものを相談したうえで作成してくださっています。 ・子どものために親身になってくださっている。	子ども理解に努めていますが、子どもの1番の理解者は保護者です。職員視点での子ども・保護者視点での子どもを共有し合い、これからも「一緒に」作成した個別支援計画であると感じてもらえるようにプロセスを大切にしていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36				1		本人支援に留まらず、家庭での不安・進学等ライフステージごとの不安への支援も事業所の役割です。外部と繋がり職員自身も勉強し続けるとともに、子どもの生活全体・将来を見据えた支援に取り組んでいきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36				1	・課題や伸ばしたい力をしっかり意識していただいています。	計画に沿った支援をチームで行うために、1日1日を大切に毎回のサービス開始前にパートタイム職員も含めた打ち合わせを行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36				1	・毎度子どもは楽しみにしています。 ・通所する児によって活動を考えるなど工夫されているようにお見受けしました。 ・外出してくれている。 ・そのような機会をつくるのは難しいかなと思います。	子ども達の「楽しそう！」「やってみよう！」を大切に意欲を引き出す活動を考えていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	27	5	6	9		・保護者がそれを求めているとは限らない（障害特性によっても難しい場合がある）。	積極的な交流機会は設けていませんが、保護者・子ども達の要望を大切に、公園・地域施設・買い物等で地域と交流できる機会を設けていきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37					・不透明は何もありません。	・安心して利用を開始していただけるよう、丁寧な説明を心がけています。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37					・しっかり説明していただいています。	・支援内容がイメージしやすいように、具体的な場面や事例をお伝えするよう心がけています。	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	5	1	・参加できていませんが複数回行われています。	今年度は、就労移行支援についての勉強会を開催しました。これからも保護者の要望に沿って検討していきます。事業所主催ではない会についても積極的に共有していきます。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	36			・毎度様子を伝えていただいています。	保護者が安心して子どもを託すことができる場所であることも事業所の重要な役割です。半年に一度の面談のみならずお気軽に相談していただけることを発信していますが、「わからない」という返答があったことを真摯に受け止め、より子ども・保護者の声をしっかりと聴き、共通理解に努めていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36			・面談をしていただいています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37			・本当によく支援してくださっているので私の安心できる時間です		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	7	4	5	・各ご家庭の事情やプライバシーの観点から難しいのでは。 ・秋祭りをそう捉えて良いならはいです。	父母の会はありませんが、要望があれば検討していきます。保護者がどういった交流・支援を求めているのか模索し続けます。事業所主催の秋のジャンボリーには家族・友人を誘っての参加大歓迎で、交流の場となるよう継続を目指します。事業所主催ではない保護者・兄弟イベントについても情報があれば共有していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36			1	・いつもLINEで気軽に連絡させていただいていますレスポンスも早いです。 ・先生方での共有をしっかりとされている印象があり信頼に値します。	保護者の安心が子どもの安心にも繋がります。面談時だけでなく、来所・電話・LINEにてお気軽に相談していただけることを発信し続けます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36			1	・気を遣ってくださっていると思います。	
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	5		2	・きめ細やかに連絡をいただいています。 ・HUGの活動の欄を活用すると良いと思います。 ・LINEに活動写真を送ってくれるので毎月楽しみにしています。	LINEでの長期休暇活動案内・HUGでの活動記録・毎月の写真にInstagramを始めました。まだまだ不慣れですが情報発信ツールのひとつとして活用していきます。ご意見いただいたHUGの活動記録欄の充実を前向きに検討します。自己評価の結果をホームページにて公表していることを周知します。十分留意します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36			1		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	4		2	・避難訓練をしていて素晴らしい!と思いました。	各種マニュアル・安全計画を年度ごとに見直し、それをもとに点検・訓練を行っています。ご希望があればいつでも御覧いただけます。
満足度	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35			2	・避難訓練をしていて素晴らしい!と思いました。	子ども達とも月に1度(曜日を変えて)避難訓練を行っています。有意義な訓練を目指して、実際に避難所へ歩いたりクイズを取り入れたり防災センターに出かけたり工夫しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34			3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36			1	・しっかりと申し送りしていただいています。	安全第一を心がけていますが、事故や怪我が発生した際には速やかに保護者に共有するよう努めています。子ども達の経験の幅を狭めすぎることなく安全を確保していくために、その都度ヒヤリハット分析で対策を検討し職員全体に共有しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				・不安に思っていることは1つもないと思います。	職員一丸となって、子ども達の「安全」「安心」「楽しさ」を踏まえた支援に日々真摯に向き合っています。社会性・コミュニケーション支援に繋がる集団活動と、放課後の余暇としてのひとりひとりの「わたし・ぼくの楽しみ」の時間、両方を大切にバランスを考えながら、誰かを信頼する安心感・仲間と空間をとる心地良さを感じてもらえるように励んでいます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	36	1			・好きなことに取り組めて楽しいようです。 ・先生方を信頼して通所の日を楽しみにしています。 ・毎回楽しみにしています。 ・大満足ですいつもありがとうございます。	ボカラボットふじしまを選んでくれた子ども達・保護者にもっともっと満足してもらえるように、職員一同、これからも個々に・チームで成長を目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37				・コミュニケーション上の失敗をお友達とのやりとりの中でくりかえす中でいつも適切な声かけをしてくださっていると思います。 ・望んでいた以上の支援をしていただいています。 ・花丸です	